

半導体産業集積強化推進本部会議（第2回）

次 第

日時：令和4年3月16日（水）

15:30～16:00

場所：知事応接室

1 開会

2 蒲島知事 挨拶

3 報告事項

（1）各部会の進捗状況報告について

（2）JASM工場建設に係る情報共有等について

4 意見交換

5 閉 会

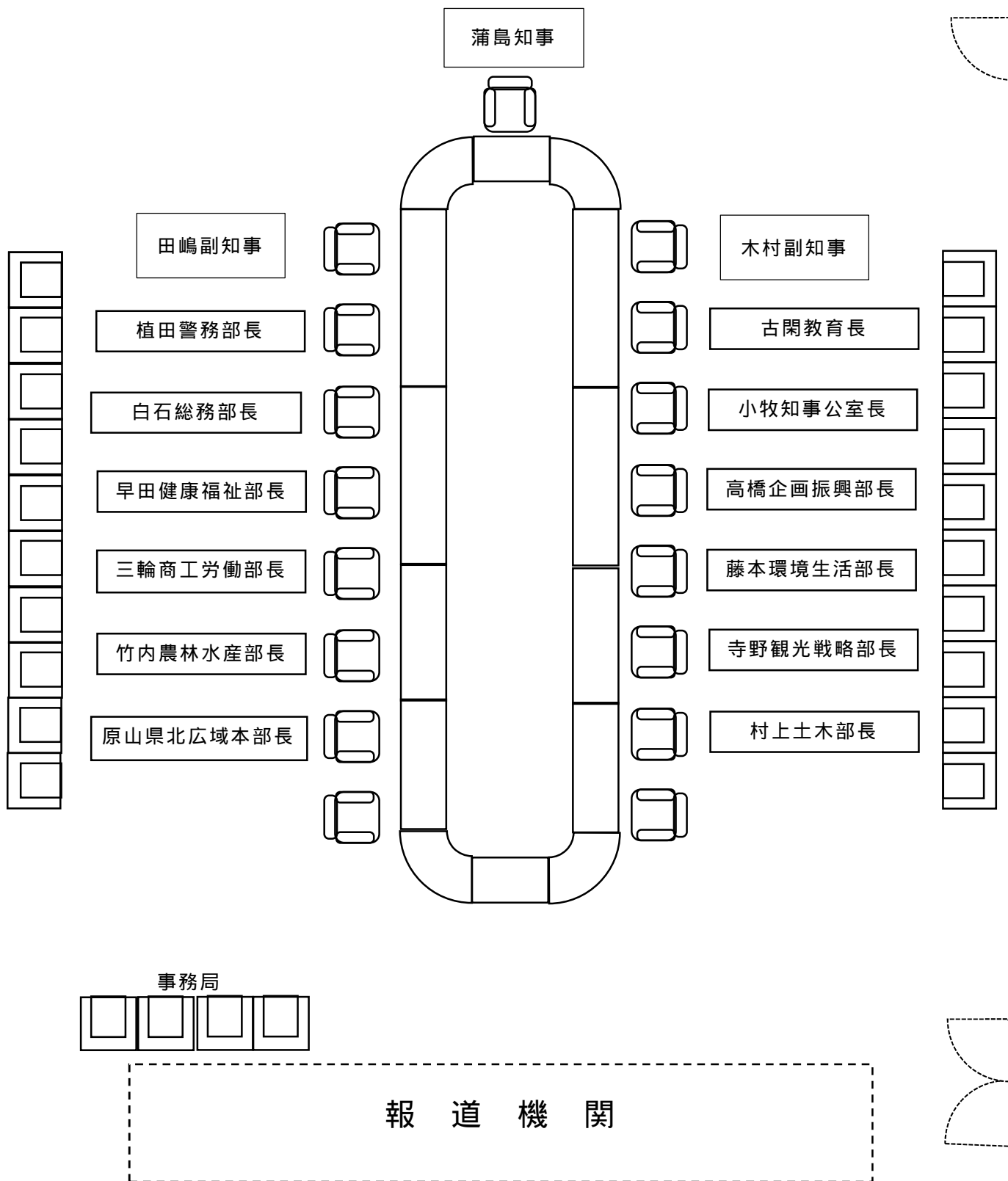
半導体産業集積強化推進本部会議（第2回）
出席者名簿

知事	蒲島 郁夫	
副知事	田嶋 徹	
副知事	木村 敬	
知事公室長	小牧 裕明	
総務部長	白石 伸一	
企画振興部長	高橋 太朗	
健康福祉部長	早田 章子	
環境生活部長	藤本 聡	
商工労働部長	三輪 孝之	
観光戦略部長	寺野 慎吾	
農林水産部長	竹内 信義	
土木部長	村上 義幸	
教育長	古閑 陽一	
県警本部 警務部長	植田 有佐	代理出席
県北広域本部長	原山 明博	

半導体産業集積強化推進本部会議（第2回） 席次表

日 時：令和4年3月16日（水）
15:30～16:00

場 所：知事応接室



部会における取組の方向性

部会名	主な課題	主な取組みの方向性
人材確保・育成部会	半導体関連産業での即戦力人材の育成 (大学等のカリキュラム不足) 県内学生の県外流出抑制 UIJターンの積極的な誘致	ニーズに即した半導体産業で必要な人材育成のため、産学官による「熊本県半導体人材育成会議」の設立(3/17) 卒業生の県外流出抑制やUIJターンの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業の魅力発信やHP等を活用したマッチング強化 ・県外学校訪問による周知活動や都市部へのPR強化
渋滞・交通アクセス対策部会	渋滞箇所の改善 公共交通機関の利用促進・環境整備 企業等における取組の推進	【短期】 <ul style="list-style-type: none"> ・セミコン通勤バスの利便性向上 ・局部的な交差点改良 【中長期】 <ul style="list-style-type: none"> ・菊陽空港線の改良や中九州横断道路の整備促進 ・交通需要に応じた道路整備 ・空港アクセス鉄道の整備
国際交流部会	海外とのビジネス交流に向けた県内企業の意識醸成と支援 ビジネス交流をフックとした交流人口拡大 外国人材の受け入れ環境整備	JETRO等と連携した海外展開や県内企業等支援、新規航空路線・コンテナ航路の誘致 高雄市との交流5周年事業、台湾でのフェアや現地旅行会社との商談会等による文化・観光面等での交流促進 市町村の外国人受入連絡協議会設立支援や多文化共生社会実現のための取組推進
教育環境部会	教育環境に関するニーズの把握 外国籍児童・生徒に関する現在の教育環境の実態把握	県内における外国籍児童・生徒の教育環境の実態把握等による課題の整理 県内の子どもたちのグローバルマインドの醸成につながる、ともに学べる教育環境(インターナショナルスクール、地域の小中学校等)の検討
熊本PR部会	熊本の魅力発信及び浸透 【ターゲット】 首都圏等の若年層 TSMCを含む台湾の方々	重点的・効果的な広報を実施するための、広報計画の策定及び共通広報ツールの制作 デジタルプロモーションの高度化(戦略的ターゲット設定のためのデジタルデータの集約・蓄積・活用に向けた検討)

令和4年3月16日に設置

	内容	主な取組み
自然環境部会	TSMCの進出を契機として、工業団地及びその周辺の自然環境の保全と調和及びCO2の削減を図る。	(1)地下水の保全・涵養に向けた取組み (2)再生可能エネルギーの活用等によるCO2削減の推進

J A S M工場建設スケジュール及び投資計画等

1 JASM 工場建設スケジュール

2022年（令和4年）春	工場建設着手
2023年（令和5年）秋	工場完成
2023年（令和5年）秋	～ 製造設備の搬入開始（2024年末まで継続）
2024年（令和6年）初頭	～ 設備搬入と並行して ・ 製造ラインの立上げ ・ 顧客からの製造ライン認定
2024年（令和6年）年末	製品出荷開始

2 投資計画及び雇用見込み

2月15日JASMの工場建設にデンソーの参加が決定。
（約400億円を出資。JASMの株式の10%超を取得。）
次のとおり設備投資額等や雇用予定者数を増強する。

増強する項目	当初計画	変更後の計画
投資額	約8,000億円	約9,800億円
月間生産能力	45,000枚	55,000枚
雇用予定人数	1,500人	1,700人
製造する半導体	22、28ナノ	12-16ナノを追加 （より先端品を製造）

雇用予定者1,700人のうち3割（約500人）は、TSMC及びソニーからの出向。（うち、TSMCから約300人の見込み）

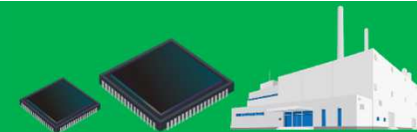
残り1,200人を新規採用及びアウトソーシングで対応。

JASMの採用活動は既に始まっており、装置搬入が始まる2023年10月までに、上記出向も含み1,200人の人材を確保予定。

(a) 半導体産業の更なる集積に向けた取組み

予算額45億64百万円(6億41百万円)
うちR4年度当初予算計上25億23百万円(5億34百万円)

くまもと半導体産業推進ビジョン策定 64百万円



1 人材育成・確保部会関連

4億80百万円

(うちR4当初 2億78百万円)

< 活動内容 >

特に人材不足が顕著である半導体関連企業を対象に、大学・技大・高専・高校を含む幅広い育成の取組みや、UIJターンの推進等、人材確保等を検討。

< 主な関連事業 >

- ・「くまもとではたらく」若者の県内定着促進事業 47百万円
- ・新型コロナ対応再就職支援プログラム(R3.2月補正) 1億70百万円
- ・マイスターハイスクール事業 12百万円

2 渋滞・交通アクセス対策部会関連

7億52百万円

(うちR4当初 5億99百万円)

< 活動内容 >

更なる混雑が予想されるセミコンテクノパーク周辺の渋滞解消及び交流人口の増加に対応するための当該地域への交通アクセスの向上について検討。

< 主な関連事業 >

- ・地域道路改築費(新山原水線他) 5億90百万円 (うちR4当初 5億50百万円)
- ・単県道路調査費(菊池南部地域他) 42百万円
- ・阿蘇(まもと空港アクセス整備調査検討事業) 44百万円 (うちR4当初 7百万円)

3 国際交流部会関連

1億12百万円

< 活動内容 >

半導体関連企業は海外との取引が多いため、自治体・民間での国際交流を推進し、ビジネス交流の展開を図るとともに、県内における多文化共生社会の実現を図る。

< 主な関連事業 >

- ・外国人材受入支援事業 12百万円
- ・航空貨物輸送等調査研究事業 15百万円
- ・戦略的ポートセールス推進事業 50百万円
- 参：P70
- ・熊本県多文化共生支援事業 13百万円

4 教育環境部会関連

当面は既存予算で対応

< 活動内容 >

TSMCの進出を契機に増加が見込まれる海外からの技術者の家族について、教育機会の確保等を図る。

< 主な関連事業 >

- ・外国人子弟の教育環境に係る調査・検討

5 熊本PR部会関連

46百万円

< 活動内容 >

幅広く熊本をPRし、熊本の認知度を高め、人材や企業の集積等につなげる。

< 主な関連事業 >

- ・復旧・復興首都圏等広報強化事業 25百万円
- ・半導体サプライチェーン構築加速化事業 21百万円

参：P68

その他

31億10百万円

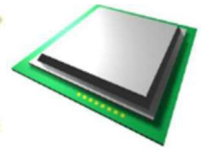
(うちR4当初 14億88百万円)

< 主な事業 >

- ・企業誘致環境整備事業(下水道整備受託) 27億 1百万円 (うちR4当初 10億79百万円)
- ・新規工業団地建設事業 1億71百万円

参：P69

熊本県半導体人材育成会議を開催します



熊本県では、TSMCの本県への進出を契機に、県内における半導体産業の更なる集積はもとより、世界の半導体ニーズを支える、シリコンアイランド九州の復活を目指すため、本県の半導体人材育成に関する産学官の意見交換の場として、下記のとおり半導体人材育成会議を開催します。

記

1 日時 令和4年(2022年)3月17日(木)

午前10時30分から午前12時00分

2 場所 ホテル熊本テルサ 3F たい樹

〈次第〉

1 開会

2 知事挨拶

3 本会議開催の経緯について

4 議題(仮)

(1) 県内半導体産業をめぐる状況について

(2) 人材確保等に係る県の取組み及び協力依頼について

(3) 教育現場からの情報提供及び今後の取組みについて

(4) 産業界から見た、教育現場の取組みについての感想、及び企業や産業界が求める人物像について

5 意見交換

6 事務連絡

7 閉会

〈参加者について〉

○ 産… 大手デバイスメーカーや製造装置大手・地場協力企業等 10社程度

○ 学… 大学、高等専門学校、技術短期大学校、工業高等学校、専門学校等
10校程度

< 備 考 >

- 企業の採用計画等、経営上部外秘としている情報についても意見を交わす可能性があるため、会議については、頭撮りのみとし、次第の4以降は非公開とします。
なお、会議終了後に別途記者レクを行います。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材等で入場される場合は、マスクの着用などの感染症予防対策をとっていただきますようお願いします。
- 当日発熱（37.5度）がある場合、入場をお断りする可能性があります。

【問合せ先】

商工労働部 商工雇用創生局 労働雇用創生課
能力開発班（担当）梶川、荒毛
096-333-2344（県庁内線 5226）